

1. 信仰の先輩たち	2. 主人-キリスト (ガラ 2:20)	(4部) 神様の絶対主権 (ヨブ 1:20-22)
<p>なぜ教会につまずいたり、試みにあつたりして教会を離れることがあるのか。自分の現実とキリストの福音に大きなギャップがあるからだ。聖書にある信仰の先輩たちは、現実の大変な問題や危機の中でも決して神様をうらんだり、不平不満は言わなかった。なぜなら自分自身が主人ではなく、神様(キリスト)が主人だったからである。</p> <p>1) ヨセフ (創 39:1、39:20) 神様から世界福音化という契約を握んだが、現実には奴隷に売られたり、濡れ衣を着せられ監獄に入れられたりした。</p> <p>2) ダビデ (Iサム 16:13) 王になるという契約を握っていたが、現実には死ぬ危機に追われる逃亡者だった。</p> <p>3) ダニエル (ダニ 6:1-28) 国務大臣だったが、周り人のねたみによって獅子の穴に投げ落とされた。</p> <p>4) ステパノ (使 7:54-60) 福音を伝える中、石に打たれて殉教した。</p> <p>5) パウロ (IIコリ 11:23-27) 投獄されたり、むちや石に打たれたり、死に直面したこともある。</p> <p>6) ヤコブ (使 12:1) 殉教した。</p> <p>7) アブラハム (創 22:1-19) 一人子イサクをいけにえとしてささげようとした。</p> <p>8) ヨブ (ヨブ 1:22) 悪性の腫物ができたり、家族や全財産を失われた。</p> <p>☆以上のような試練があつたが信仰の人たちは神様を恨んだり、人のせいにしたりして信仰を失うことはなかった。</p>	<p>1) 私が主人×</p> <p>1) 創 3 章-私中心 2) 創 6 章-物質中心 3) 創 11 章-成功中心</p> <p>2) キリストが主人-私は十字架の上で死んだ イエス様の時代では奴隷は主人の所有物であつたため、主人の思い通りに奴隷を扱うことができた。そのように私たちもイエス様が主人であれば、病気になることも、大変な目に合うことも、喜びも苦しみも、主の絶対主権であることを信じ、主人のなさることを受け取ることである。私の益になるために、私の欲を満たすための信仰生活ではなく、イエス様そのものが私たちの信仰生活の目的となるべきである。</p> <p>(1) ピリ 4 : 11-13 乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあつても満ち足りることを学びました。私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にいる道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。</p> <p>(2) ガラ 2:20 私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によつていふのです。</p> <p>(3) I コリ 15:31 兄弟たち。私にとって、毎日が死の連続です。これは、私たちの主キリスト・イエスにあつてあなたがたを誇る私の誇りにかけて、誓つて言えることです。</p> <p>(4) I テサ 5:16-18 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあつて神があなたがたに望んでおられることです。</p> <p>(5) ハバ 3:17-19 そのとき、いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木は実をみのらせず、オリーブの木も実りがなく、畑は食物を出さない。羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいなくなる。しかし、私は主にあつて喜び勇み、私の救いの神にあつて喜ぼう。私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。指揮者のために。弦楽器に合わせて。 -私の主人はキリスト -主人の御心とおりに生きる人生 -ただイエスによつて喜び、イエスで満足、幸せになると暗闇が打ち砕かれる</p>	<p>聖徒が知るべきサタンの通路</p> <p>1. だれのせいにもしない</p> <p>2. 福音以外のことは譲る</p> <p>3. 過ちをした人は祈りながら待つ</p> <p>4. 嫉妬、ねたみはしない</p> <p>5. 聖徒が教会を移ることで試みに陥らない</p> <p>6. 神の望みであれば損をしてもする</p> <p>☆サタンの通路を知つて、以上の6つのことに注意しながら歩むことが大切なことです。</p>

区域地教会(2017年2月27日~3月4日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】

「福音にあつての自由」 ピリ 4:11-13

【讚美】

464【406】荒波に疲れたる

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ・「第二の RUTC 運動」(本部 元旦メッセージ)のメッセージの成就のために。
- ・「第二の宗教改革」(福音宣教教会 元旦メッセージ)、2017年の1%福音化のために。
- ・3つの運動(区域地教会, レムナント, 8000教会・286人の宣教師)の成就のため。
- ・主任牧師に聖霊充満と5つの力が与えられるように。

②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題や病を持っている方のために。

③区域地教会の新しい家族のために。

④区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄とは、限りなくなんじのものなればなり。

アーメン

【Memo】